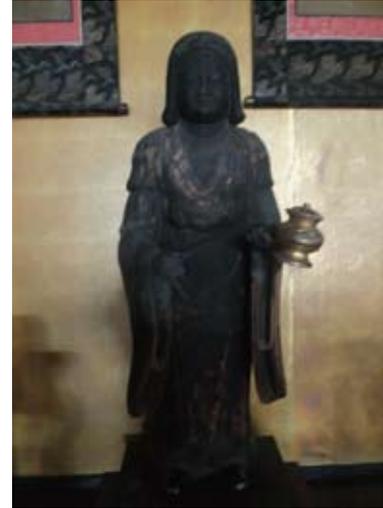


西敬寺 聖徳太子像

長野県飯山市奈良沢

開基 岩倉親経は出家して浄観号し信州善光寺報恩院住侶となる。承元元年親鸞聖人善光寺参詣の時報恩院に逗留された時、聖人の勸化を聴聞し法名を善巧と賜り師弟の印と十字名号と共に賜り、その時聖人の仰せに、仏教昔西天よりおこりこの地に伝わること上宮皇子の広恩なり。御徳に謝し尊像を彫刻せんとあれば、善巧歓喜して、棕の木の丸木に彫刻賜った。聖徳太子 16 歳の尊像。又 川中島の戦いの時武田信玄の矢傷を受けた「身代わりの太子像」ともいわれ長野県の県宝に指定されている。



西敬寺聖徳太子像